

- 14) 渡邊直人, 清水正司, 富澤岳人, 豊嶋心一郎, 金澤 貢, 亀田圭介, 蔭山昌成, 瀬戸 光: Tc-99m MIBIシンチグラフィを用いた悪性リンパ腫の検討 (Gaシンチグラフィとの比較) 第2報. 第38回日本核医学会総会, 1998, 10, 高松.

◆ その他

- 1) 渡邊直人, 横山邦彦, 絹谷清剛, 清水正司, 道岸隆敏, 利波紀久, 瀬戸 光: 放射性ヨード大量療法における小核試験を用いたリンパ球の放射線障害に関する検討. 免疫・腫瘍核医学12: 27-29, 1997.
- 2) 新谷光夫, 熊谷道朝: 心臓カテーテル室・MR検査室の電磁波測定結果. 北陸アンギオ研究会, 1998, 5, 金沢.
- 3) 利波修一, 稲垣晶一, 中村 衛, 倉西誠: マルチクリスタルガンマカメラを使用した123I心筋製剤によるファーストパス法の試み. 平成10年度東海北陸地域放射線技師学術大会, 1998, 7, 三重.
- 4) 新谷光夫, 熊谷道朝: 北陸3県における放射線量測定結果報告-腹部単純撮影・DSA撮影. 福井県放射線技師会第1回勉強会, 1998, 11, 福井.
- 5) 桑山直也, 新谷光夫, 熊谷道朝: 脳血管手術における被曝線量と放射線防護. 北陸アンギオ研究会誌6-9, 1998.

救 急 部

部長・助教授 龍 村 俊 樹
助 手 川 上 恭 右
助 手(前) 池 谷 朋 彦

◆ 原 著

- 1) 龍村俊樹: 胸腔穿刺法, 胸腔ドレナージ法. 内科総合誌 Medical Practice (臨時増刊号) 凶急救急・応急処置ガイド, 15: 320-327, 1998.
- 2) 龍村俊樹: 鈍的肺外傷例の臨床的検討. 日本臨床救急医学会雑誌, 1(2): 171-175, 1998.

◆ 総 説

- 1) 川上恭右, 三崎拓郎: 新術前術後管理マニュアル, 抗不整脈薬. 消化器外科臨時増刊号, 21: 960-961, 1998.

◆ 学会報告

- 1) 龍村俊樹, 池谷朋彦, 富田国男: 肺外傷例におけるCTおよびX線の比較. 第21回日本気管支学会総会, 1998, 5, 広島.
- 2) 川上恭右, 渡邊 剛, 湖東慶樹, 上山克史, 土肥善郎, 三崎拓郎: 心臓手術後除細動電極の開発. 第13回日本心臓ペーシング・電気生理学会学術大会, 1998, 5, 東京.
- 3) 龍村俊樹, 池谷朋彦: 鈍的肺外傷例の検討. 第1回日本臨床救急医学会総会, 1998, 6, 倉敷.
- 4) 川上恭右, 渡邊 剛, 湖東慶樹, 宇於崎泰弘, 上山克史, 島津親志, 三崎拓郎: 厚生省認可後の第4世代植え込み型除細動器3例の経験. 日本胸部外科学会関西地方会, 第41回学術集会, 1998, 6, 広島.
- 5) Tatsumura T., Sato H., Mori A., Miyazaki M., Tomita K.: Modified surgical technique for hiatal hernia: Fifteen years of follow up in 15 patients. 16th World Congress Collegium Internationale Chirurgiae Digestivae, 1998, 9, Madrid.
- 6) 川上恭右, 渡邊 剛, 湖東慶樹, 宇於崎泰弘, 上山克史, 土肥善郎, 一木克之, 島津親志, 三崎拓郎: 当科における植え込み型除細動器11例の経験-除細動器植え込み症例に対する治療指針-. 第46回日本心臓病学会学術集会, 1998, 9, 東京.
- 7) 川上恭右, 渡邊 剛, 湖東慶樹, 宇於崎泰弘, 上山克史, 土肥善郎, 一木克之, 島津親志, 三崎拓郎: 心臓手術後一時的除細動電極の試作. 第51回日本胸部外科学会総会, 1998, 10, 東京.
- 8) 龍村俊樹, 津田基晴, 森 明弘, 佐藤博文: 巨

大肝囊腫切除例. 第60回日本臨床外科学会総会, 1998, 11, 広島. (ビデオクリニック)

- 9) 龍村俊樹, 川上恭右, 坂本 隆, 榊原年宏, 竹森 繁, 新井英樹, 塚田一博: 鈍的腹部外傷例の検討. 第26回日本救急医学会総会, 1998, 11, 高松.

◆ その他

- 1) 龍村俊樹: 胸部外傷. 富山県下救急隊員研修会, 1998, 10, 富山.

輸 血 部

部 長 (併任)	渡 辺 明 治
副 部 長	樋 口 清 博
主任臨床検査技師	西 野 主 眞
臨床検査技師	道 野 淳 子
臨床検査技師	多葉田 祥 代
婦 長	江 口 富 子

◆ 原 著

- 1) Atarashi Y., Yasumura S., Nambu S., Yoshio Y., Murakami J., Takahara T., Higuchi K., Watanabe A., Miyata K., and Kato M.: A novel human tumor necrosis factor alpha Mutein, F4614, inhibits in vitro and in vivo growth of murine and human hepatoma. Implication for immunotherapy of human hepatocellular carcinoma. *Hepatology* 28 : 57-67, 1998.
- 2) Miyamoto M., Shimizu Y., Okada K., Kashii Y., Higuchi K., and Watanabe A.: Effect of interleukin-8 on production of tumor-associated substances and autocrine growth of human liver and pancreatic cancer cells. *Cancer Immunol Immunother* 47 : 47-57, 1998.
- 3) 河相 覚, 真野鋭志, 桑原芳弘, 樋口清博, 渡辺明治: 呼気病態生化学からみた栄養評価—糖質代謝と腸内細菌叢の変化. *栄養—評価と治療* 15 : 417-422, 1998.

◆ 症例報告

- 1) Watanabe A., Wakabayashi H., Yasumura S., Shimizu Y., Higuchi K., Nishioka M.: Autoimmune hepatitis types II and IV in young men. *J Med* 28 : 347-362, 1997. (1997年度追加)

◆ 総 説

- 1) 樋口清博, 渡辺明治: 劇症肝炎. 「臨床医のための肝生検診断」, *Modern Physician* 18 : 999-1002, 1998.

◆ 学会報告

- 1) Watanabe A., Okita H., Higuchi K.: Diagnosis of subclinical hepatic encephalopathy by a scoring system based on clinical and neuropsychological tests, The 11th World Congress of Gastroenterology, 1998, 9, Vienna, Austria.